

週報

2016年23号(6月5日～6月11日)

2016年度宣教テーマ

「世のために」

ヨハネによる福音書3章16節～17節

< 巻頭言 >

『主を喜び祝うこと』

ネヘミヤ記8章1節～12節

今日は、礼拝について、考えたいと思います。本日の箇所には、端的に「主を喜び祝うこと」が礼拝であると教えられています。しかしながら、その喜びは、イスラエルの民にとって、簡単に手にすることができるものではなかったようです。

イスラエルの民は、神に背き続けてきました。9章には、そのことが、彼ら自身の言葉で告白されています。その結果、彼らは、バビロン帝国との戦いに敗れ、神から与えられた土地を失い、捕囚という苦しみを経験することになるのです。約50年間、彼らは、敵の手に渡されていました。

バビロン帝国の支配から解放された民は、イスラエル民族として、神に立ち返ろうと、ネヘミヤやエズラなどをリーダーとして、エルサレムの都の再建と、律法(神の言葉)の回復に努めます。特に、本日の箇所には、み言葉に立ち返ろうとする民の姿が記されています。

民は、エズラに「律法の書」を持ってくるように求めました。それに応えてエズラは、他の指導者たちと手分けして、律法の言葉を民に向かって解き明かしながら語りました。民は、その言葉を聞いて泣いていました。自分たちの不服従と不信仰が捕囚という前代未聞の苦しみをもたらしたことを律法の言葉によって悟ったからです。

そんな民に、エズラは、「今日は、我らの主にささげられた聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」(10節)と語りかけるのです。そもそも、主を礼拝する安息日とは、解放の日であり、赦しの日でありました。民は、罪に気づかされた時、その日に込められた深い意味を知るのです。神様の深い愛を知るのです。ここに喜びがあるのです。(村田悦牧師)



教会創立 1950年8月7日(教会組織)

日本バプテスト連盟 大分キリスト教会

〒870-0045 大分市城崎町2丁目6番22号

Tel/097-532-4240 Fax/097-529-5240 牧師 村田 悦

http://blogs.yahoo.co.jp/oita_baptist_church

Mail:oitabap@violin.

ocn.ne.jp